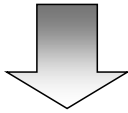


小単元名 p. ～	指導の手引 [単元バージョン]	小単元 の目標	小単元の学習内容を踏まえ、まとめの学習後に児童 が到達している目標が示されています。
--------------	--------------------	------------	---

つかむ

p.  
児童が学習内容に疑問や関心を持ち、学習問題を考えたいくなるような導入部分。  
下の吹き出しのような言葉が児童から出るように、実態に合わせて工夫を！

※児童の気づきや疑問  
【児童の言葉で記述】



※児童の気づきや疑問  
【児童の言葉で記述】

**学習問題**  
単元を通して追究し、解決に向かう学習問題。本文中では **?** で記述。

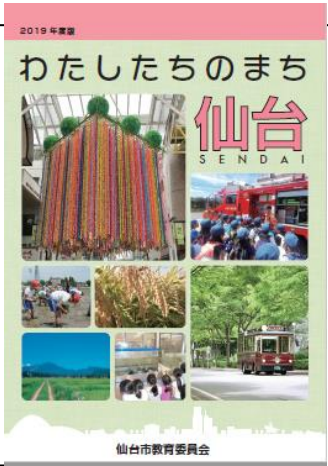
調べる

p.  
○ 学習問題を解決するための体験や調査、△○を調べよう等で記述しています。  
.  
.  
.  
※調べる活動の際の留意事項  
例 調べる観点、準備物、約束、インタビューのしかた、資料等

p.  
○ 体験や調査を振り返り、まとめる活動。△○をまとめよう等で記述しています。  
.  
.  
.  
.  
※まとめる活動の留意事項  
例 まとめる観点，まとめ方の例等

まとめる

p.  
○ 体験や調査をもとに、学習問題を解決するためのまとめの活動。 △○を～よう等で記述しています。  
※まとめる活動の留意事項



まとめ方（学習のゴールイメージ）  
や児童の主体的な活動を促す手だて等も記載しています。



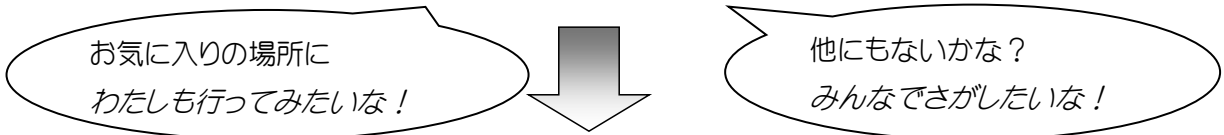
○ 教科書と副読本を併用する際のポイントを記述しています。

小単元名 p. 2～9	①学校のまわり	小単元の 目標	観察、調査、表現などの楽しさを味わわせるとともにまちの様子や生活する人々に関心を持ち、地域社会の一員としての自覚を育てる。
----------------	---------	------------	---

つ  
か  
む

p.2  
◎ お気に入りの場所をしょうかいしよう

- 生活科での学習を振り返り、学校の周りがある場所を紹介し合い、探検活動に意欲を持たせる。
- 事前に見童に紹介したい場所を聞き取り、教師がその場所の写真を撮っておき、「ここはどこだろう？」とクイズ形式で提示することも考えられる。



学習問題

**みんなが見つけたふしぎやお気に入りの場所を調べましょう。**

調  
べ  
る

p.3  
◎ 家の近くや学校のまわりを  
たんけんしよう

- 探検活動の観点「見ること」「聞くこと」
- 準備物、ルール
- たんけんカードや白地図の記入のしかた
- インタビューの仕方
- 方位磁針の使い方

充実した活動にするために、事前にしっかりと指導しておく。

p.4～5  
◎ 調べたことをまとめよう

探検で見つけたことや調べてきたことを観点ごとに整理し、絵地図にまとめさせる。

〈まとめる際の視点〉

- 地形 ・ 土地利用
- 主な公共施設 ・ 交通の様子
- 古くから残っているもの など



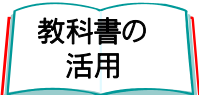
ま  
と  
め  
る

p.6～9  
◎ 分かりやすい地図に整理しよう

- 分かりやすい地図にするために、どんな工夫をすればよいのか話し合いながら作業を進めさせる。
- グループ毎の地図を1枚の大きな地図に貼り合わせることで、学区内全体の様子や特徴をおさえさせる。その際、「縮尺」の定義をおさえておく。
- 分かったこと、発見したことは地図の外に書き、探検時に撮影した写真も添付しておくとう分かりやすい。

◎ 学校のまわりを高いところからみてみよう。

- 高いところからみた様子と絵地図の様子とを比べて、方位ごとの様子について発表させる。
- さらに遠いところの様子を考えさせることにより、次単元「仙台市のようす」の学習につなげるようにする。



○ 教科書、副読本の両方の事例地を取り上げることで自分たちのまちとの類似点、相違点を見付けることができる。他地域の地図に触れることで、地図の見方、方位や地図記号などの理解を深めることができる。

p. 2, 3	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
<p>【小単元の指導に当たって】</p> <p>本小単元のねらいは、観察、調査、表現などの楽しさを味わわせるとともにまちの様子や生活する人々に関心を持ち、地域社会の一員としての自覚を育てることである。学校のまわりを探検し、見つけたことを地図に表して紹介する活動では、子どもらしい発想を大切にしながら意欲的に学習が進められるように配慮する。</p>				
<p>本文「わたしたちのまちの お気に入りの場所をしようかいしよう」</p> <p>単元への導入として設定する。生活科の学習を振り返り、学校のまわりにある場所を紹介し合い、探検活動に意欲を持たせる。</p>		<p>本文「見てみよう！ 聞いてみよう！」</p> <p>探検活動の視点である。充実した活動が展開できるように、事前にしっかりと指導しておきたい。</p>		
<p>写真「お気に入りの場所」</p> <p>児童に紹介したい場所を聞き取っておき、教師が事前に写真を撮影しておく。写真を基に「ここはどこだろう？」と、クイズ形式で提示することも考えられる。</p>		<p>「たんけんにとっていくもの」「たんけんカード」「学び方コーナー」</p> <p>本単元以降の見学活動においても共通する準備物や約束事である。事前に指導しておきたい。インタビューの仕方も練習させておきたい。</p>		
<p>②マーク</p> <p>「学習問題」の提示。本単元以降も共通のマークである。</p>		<p>*学区の実情により、東西南北、○丁目コース、公園コースなど「探検コース」を設定するとよい。</p>		

p. 4, 5	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
<p>本文「調べたことをまとめよう」</p> <p>探検で見付けたことや調べてきたことを観点ごとに整理し、絵地図にまとめさせる。事前に、どんなことを調べたり、書き込んだりしたらよいかなどを指導してもよい。</p>				
<p>写真「並木道」</p> <p>探検時に気になったことや、友達に知らせたいことなどをデジタルカメラで撮影させてもよい。また、気付いたことを分かりやすく絵や言葉で地図に書き込ませる。</p>		<p>写真・吹き出し「車いすの方にインタビュー」</p> <p>いろいろな立場の方にインタビューすることにより、自分たちでは気付かない発見ができる。</p>		
<p>写真「方位磁針」</p> <p>方位磁針の使い方を事前に指導しておく。また、地図は北を上にして表すことが多いことを理解させたい。</p>		<p>学び方コーナー「絵地図のかき方」</p> <p>調べたことを観点ごとに分けて整理し、絵地図にまとめておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形</li> <li>・土地利用</li> <li>・主な公共施設</li> <li>・交通の様子</li> <li>・古くから残っているもの</li> <li>など</li> </ul>		

p. 6, 7	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
---------	------	----------------------	------	----------

**本文「分かりやすい地図に整理しよう」**  
 分かりやすい地図にするためには、どのような工夫をすればよいのか、話し合いながら作業を進めさせるとよい。

**本文「縮尺」**  
 これを基に計算すると、実際の距離が求められることを押さえる。

**キャラクターの吹き出し**  
 グループごとの地図を1枚の大きな地図に貼り合わせることで、学区内全体的様子や特徴を押さえさせたい。



**図「地図記号」**  
 ここでは、地図記号の利便性をつかませたい。  
 地域の実態によっては、学区の地図に使用しない地図記号もあるが、成り立ちなどを示すことで、いろいろな地図記号に対しても関心を持たせたい。

**本文「この絵地図からどんなことが分かるか、話し合ってみましょう。」**  
 分かったこと、発見したことなどは、地図のまわりには書くと分かりやすい。探検時に撮影した写真も貼付しておくとしらに分かりやすい。

p. 8, 9	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	① 学校のまわり
---------	------	----------------------	------	----------

**本文「学校のまわりを高いところから見てみよう」**  
 学校の屋上で四方位を概観させ、地図と景色を見比べながら紹介し合う活動を通して、まちの様子の違いを見つける視点に気付かせる。  
 屋上に上がることができない場合は、近くの高い場所からの概観に変えるとよい。この活動ができない場合は、スライドや写真を用意して学習を進めるなどの工夫をしたい。

- \* 屋上などの高い所に持って行く物は、地図や方位磁針など最小限にする。
- \* 安全面に十分配慮する。



※探検や発表会で分かったことから、わたしたちのまちの特色や感想をまとめさせる。

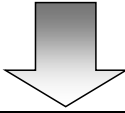
**次時への意欲付け**  
 方位を確かめながら、学校のさらに向こうはどうなっているのか興味を持たせ、次時の「仙台市の様子」につなげていくようにする。

小単元名 p.10～19	②仙台市の様子	小単元 の目標	仙台市の特色ある地形，土地利用，主な公共施設，交通の様子などを調べ，場所によってそれぞれの特色に違いがあることを考えさせる。
-----------------	---------	------------	--

つかむ

p.10  
◎ 仙台のまちを空から見てみよう  
・仙台駅を中心に東の方向を撮影している写真なので，地図の方位とは異なっていることを押さえる。  
・航空写真を見て，行ったことのある場所や知っている場所を発表させる。また，気付いたことを発表させながら，仙台市の様子を大まかに捉えさせる。

仙台の中心には高いビルや大きい道路があるね。



写真には写っていない所はどんな様子なのかな？

学習問題  
わたしたちが住んでいる仙台市の土地の様子やまちの様子を調べましょう。

調べ

p.12～13  
◎ 市の様子を写真や地図で見よう  
・市の東西南北の空から撮影した写真  
・主な川，鉄道，道路  
・八方位での表し方  
・インターネットを使って調べる方法  
グループに分かれて，土地の様子や使われ方について調べさせる。その際，巻末資料の地図を活用するとよい。

p.14～15  
◎ 市の土地のとくしよくについて考えよう  
各グループの発表から，  
土地の使われ方が，場所によってちがうのはどうしてでしょうか。  
について考えさせる。  
※「土地の様子」「たてものの様子」「川や海」「交通の様子」等と関連付けて考えさせる。

まとめ

p.16～17  
◎ 仙台市のガイドマップを作ろう  
・調べたこと，友達の発表から分かったことを整理して紹介したい内容を選ぶ。  
・一言コマーシャルを考えさせる。(例)「自然に恵まれた仙台」自分が作るガイドマップのテーマになる。→「泉ヶ岳，広瀬川などを紹介しよう！」  
・仙台市のパンフレットなどを参考にして，作品のイメージを膨らませる。  
・写真やイラストを入れるなど各自の工夫を取り入れる。  
・友達と作品の交流を通して，『仙台市のことをもっと詳しく調べたい。』という意欲を持たせ，次の単元につなげる。

学級の実態に合わせて，個人，グループで作成させる。



○ 調べる活動では，教科書のように「仙台駅のまわり」「秋保温泉のまわり」等，場所毎にグループ分けすることも考えられる。また，教科書には場所ごとに地図，写真などが豊富に掲載されているので，調べる際に資料として活用できる。「学び方コーナー」の地図作りも参考にさせたい。

p. 10, 11	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	② 仙台市の様子
-----------	------	----------------------	------	----------

【小単元の指導に当たって】

本小単元のねらいは、学区の学習を基に、仙台市全体の様子に関心を持たせ、生活経験や見学活動などを通して、市全体の様子を捉えさせることである。仙台市の特色ある地形、土地利用、主な公共施設などの場所や働き、交通の様子などを調べ、場所によってそれぞれの特色に違いがあることを考えさせる。

キャラクターの吹き出し

航空写真を見て、行ったことのある場所や知っている場所を発表させる。また、気付いたことや不思議に思ったことなどについて話し合うことを通して、仙台市の学習に対する興味・関心を高めたい。

※学習対象が、学区から仙台市全体に広がったことをしっかりと意識付ける。



写真「航空写真」

仙台駅を中心に、東の方向を撮影している。地図の方位とは異なるので、説明が必要となる。

仙台市の中心市街地にある JR 仙台駅や仙台市役所、宮城県庁の位置などを確認させたい。

また、青葉通や広瀬通、定禅寺通なども見付けさせたい。

※航空写真は、次ページ以降の学習における、白地図・地形図・土地利用図などで見比べる活動の際にも活用したい。

区名

区の名前を記入させ、自分が住んでいる区に色を塗らせる。自分たちの学校の大まかな位置も記入させ、仙台市の中のどこに位置するのかを確認させたい。

p. 12, 13	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	② 仙台市の様子
-----------	------	----------------------	------	----------

本文「市の様子を写真や地図で見よう」

仙台市の東西南北の上空から撮影した写真であることを説明する。白地図で位置を確認しながら写真と見比べ、仙台市の土地の様子について調べる課題を持たせたい。

資料編の地図「仙台市の様子」や「仙台市の土地と交通の様子」などを見比べさせると、課題意識が高まるものと思われる。

※仙台市の土地利用の様子について、調べる課題を作らせるための資料である。主な川、鉄道、道路の位置と写真、吹き出しを関連付けて考えさせたい。



学び方コーナー「じっさいに、たんけんができないときは？」

直接見学することは難しいであろう。その際、ホームページや他校との情報交換、ビデオ視聴や写真などを活用することで調べられることを捉えさせたい。

写真・キャラクターの吹き出し

仙台市の東西南北の土地の様子を表している。吹き出しと地図を見比べながら、特徴を捉えさせたい。

学び方コーナー「八方位」

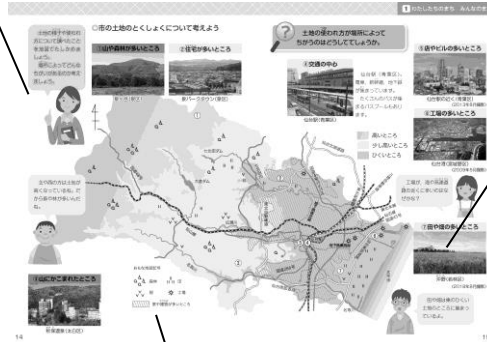
八方位を用い地図上の特定の地点を説明させることを通して、八方位の必要性や便利さに気付かせたい。

p. 14, 15	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	② 仙台市の様子
-----------	------	----------------------	------	----------

**先生の吹き出し**

仙台市の土地の高さと土地利用の様子を関連付けて考えさせる。地図記号や川、鉄道、道路の様子にも注目させたい。

※前ページの地図や写真と合わせて学習するとよい。  
※土地の高さを色で表し、地図記号も掲載しているので、地図記号の学習にも活用できる。



**写真**

児童が撮影してきたものを利用してもよい。

※児童の実態に応じて、あらかじめ主な道路や川などをかいた白地図を配布して作業を進めることも考えられる。(白地図は教育センターHPのわたしたちのまち仙台『指導の手引き』からダウンロードできます。)

**地図記号**

他にもいろいろな記号があることを知らせ、調べさせる。地図記号に慣れさせる。

p. 16, 17	大単元名	1 わたしたちのまち みんなのまち	小単元名	② 仙台市の様子
-----------	------	----------------------	------	----------

**本文「仙台市のガイドマップを作ろう」**

調べて分かったことや気付いたことなどを整理し、仙台市のガイドマップを作らせる。

これまで調べたことのほかに、新たに興味を持ったり疑問に思ったりしたことなどを調べてもよい。

**学び方コーナー**

「仙台市ではないところに住んでいる人たちに伝えよう。」という働き掛けから、意欲付けを図りたい。自分が調べた地域だけでなく、友達が調べた地域も取り入れながら、仙台市全体を紹介させたい。

**キャラクターの吹き出し**

家の人にインタビューしたことを取り入れてもよい。



**写真**

児童が撮影した写真を取り入れてもよい。そのほか、インターネットやパンフレットなどの写真を活用することも考えられる。

**一言コマーシャル**

自分の考えや友達の発表、家の人へのインタビューなどから、仙台市のイメージを膨らませ、一言コマーシャル作りを取り組ませたい。

**イラスト**

写真を取り入れることが難しい場合など、簡単なイラストで表現してもよいことを働き掛けたい。児童一人一人が、分かりやすく楽しいマップにすることができるよう、個に応じた工夫を引き出したい。

写真

東北新幹線は、4月25日、福島ー仙台間の運転を再開、また、仙台市地下鉄は、4月29日に全線再開するなど、人々の努力により異例の早さで交通機関を復旧させることができました。

本文・写真

震災直後の沿岸部の写真。現在は仙台市の復興計画に沿って、着実に復興していることを押さえさせたい。

本文・写真

仙台市でも多くの学校が地震や津波の被害を受けた。本文や写真のように、校舎が使えなくなった学校もあったことを押さえさせたい。また、自分たちの学校は、どのような被害を受けたのかを知らせてもよい。

\* 震災で被害を受けた児童や学校の状況に十分配慮して取り扱うことが求められる。



本文・写真

仙台市では、「ともに、前へ仙台」を合言葉に、復興に取り組んでおり、現在も多くの人たちに支えられていることを捉えさせたい。

本文・写真

p.18 の写真とほぼ同じ地区である。海水をかぶったが、現在は協力して野菜を育て、大手スーパーなどに卸している。「早く以前のような稲作に取り組みたい。」という農家の願いをつかませたい。

本文・写真「故郷復興プロジェクト」

平成30年度も引き続き、市内の学校それぞれが、保護者、関係機関等と協力し、復興に向けて地域のために活動を行った。自分たちの学校での取組について振り返り、話し合わせることも考えられる。

※資料として、防災副読本「3・11 から未来へ」を活用するとよい。